

3/29. 木

侵略止める力は世論

全国革新懇が代表世話人会

全国革新懇は28日、都内で代表世話人会を開き、ロシアのウクライナ侵略に反対するたかいや「核共有」「敵基地攻撃」などの憲法をめぐる情勢、参院選での「市民と野党の共闘」の発展などについて意見を交流しました。日本共産党的志位和夫議長、小池晃書記局長が参加しました。

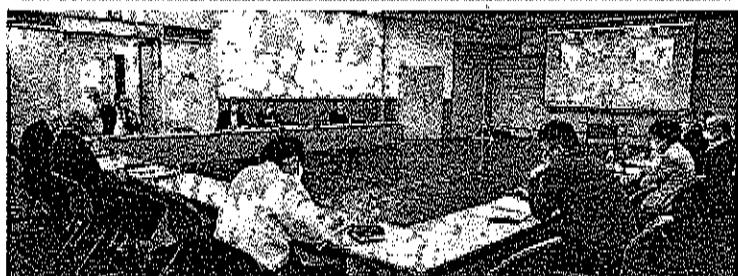
ロシアはウクライナ侵略で、武力行使を禁止した国連憲章違反、病院や原発を攻撃し民間人を無差別に攻撃するなどの国際人道法違

反、核兵器の先制使用による恫喝（どうか）と、これら二つの無法行為を行ってくるとの批判が出されました。ロシアの侵略に際して、国連憲章と国際法を侵犯したのはいかにも「ロシアは侵略をやめろ」「国連憲章を守れ」という国際世論を広げながらが物事を捉えるのが本懇の志位の意見が出されました。日本は、東南アジア諸国連合（ASEAN）と日本中なら18カ国が参加する東アジアサミットの活用・強化、憲法の条文を生かした平和外交を推進すべきだとの意見が相次きました。

今後の要求実現のところくみが活発に交流され、「各地の青年がロシアによるウクライナ

侵略に反対する行動に立ち上げている。平和による国際秩序を青年人で太い世論にしてみたい」（青年分野）、「100万部のリーフを作り、憲法を学び語る何よりの力は、世界の国々と市民社会が大運動にとりくんで

いる」（女性分野）、「新自由主義、ウクライナ危機の影響で食料危機が始まっている。食料大増産とかじを切る」とを鹿児島に求めてい



立てる」という意見が出ていたこと、「農業分野」、「ウクライナ侵略の影響で銅やアルミニウムなどの資材が高騰し、農業が続けられない。参院選に向けて『のめこそ戦争をさせない抑止力』と有権者に積極的に提起してみたい」（中小企業分野）などの意見が出されました。

市民と野党の前進のために革新懇を草の根で広げる」と、京都府知事選（4月20日投票）のかじかわ憲候補の必勝に向けた支援、

5月の全国総会成功に向けた議論などを「行いました。